

第 2 部

重点的な 取り組み

重点的な取り組み

尾鷲市の将来都市像「共に創り 未来につなぐ 誇れるまち おわせ」の実現を図るため、将来のまちのイメージ（基本目標）、政策、施策を掲げるとともに、施策において10年後のめざす姿を明確にし、「市民」「行政」「事業者」などの主体が共に取り組む方針を定めています。

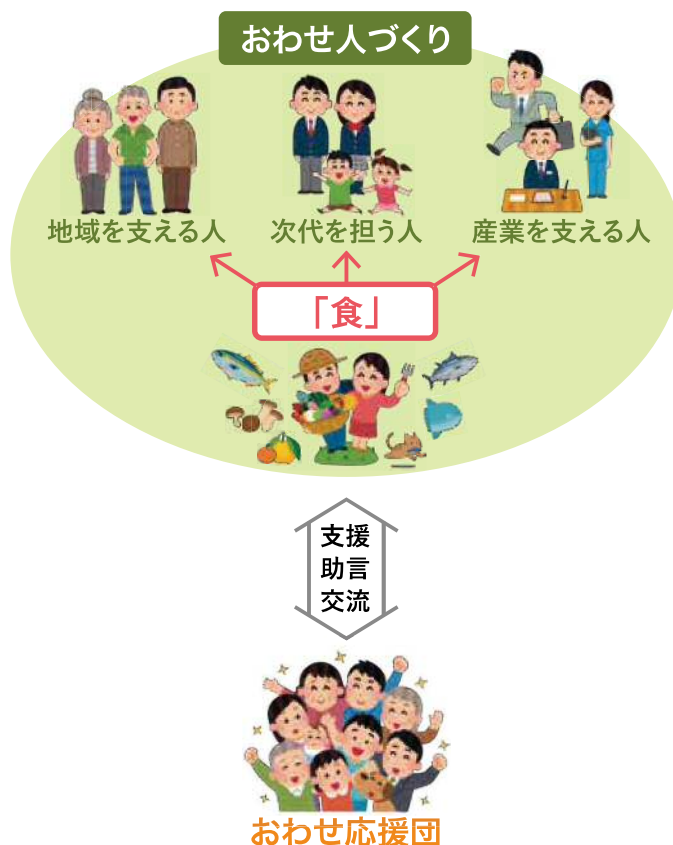
この方針を具現化するため、第6次総合計画では「重点的な取り組み」を掲げ、基本計画における政策分野の異なる事業を、横のつながりを持って、一体的に展開することにより、それぞれの分野を総合的に牽引し、成果を上げることがめざし、市民と行政が一体となって、子どもから生涯を通じた『おわせ人(びと)づくり』を掲げました。

この『おわせ人づくり』を具現化するため、平成27年3月に策定した『尾鷲市「食」のまちづくり基本計画』において、地域資源に着目した「食」のまちづくりを打ち出しました。これは、本市のあらゆる分野において「食」を共通項目として、横断的かつ連動的、総合的にまちづくりを進めようとするものであり、いわば「食」を『おわせ人づくり』の推進エンジンと位置づけるものです。

重点的な取り組みである『おわせ人づくり』では、引き続き、次代を担う人づくり、地域を支える人づくり、産業を支える人づくり、おわせ応援団づくりに取り組むなかで、特に「食」のまちづくりを重視し、その具現化を図ります。

■重点的な取り組みのイメージ

尾鷲市 将来都市像



次代を担う人づくり

- 安心して子どもを生き育てるため、保健、医療、福祉、教育、都市基盤など、総合的な子育て環境の充実に取り組みます。
- 子どもたちが尾鷲に愛着を持ち続け、尾鷲に対する誇りを醸成するため、尾鷲の「食」をはじめ、自然や景観、歴史、伝統文化の体感など、郷土愛を育む地域学習の充実に取り組みます。
- 家庭、学校、地域においてライフステージに応じた食育を推進し、「食」の大切さを啓発し、健康な人づくりに取り組みます。
- 高齢者の豊富な「経験」「知識」「技」などを次代へ継承していくため、世代間交流による学びの場づくりに取り組みます。

地域を支える人づくり

- 地域活動の活性化のため、「食」を中心とした地域資源を活用し、地域が自立できるコミュニティ活動の支援に取り組みます。
- 地域に愛着と誇りを持ち続けるため、食文化をはじめとする地域文化の伝承など、住民が一体となったまちづくりに取り組みます。
- 誰もが住み慣れた地域で暮らし続けるため、「支え合い」や「助け合い」など、地域の絆によるまちづくりに取り組みます。
- 「自助」「共助」を基本とした地域の防災力を高めるため、住民主導の避難行動など、自主的な防災活動の推進に取り組みます。

産業を支える人づくり

- 基幹産業である農林水産業の振興と経営の安定化に向け、生産基盤の整備、後継者や担い手の育成・支援に取り組みます。
- 農工商等連携によって「食」をはじめとする商品開発及び改良を行うなど、地域資源を生かしたブランド化や地域食材の流通、利活用の拡大に取り組みます。
- 「食」をテーマとしたPR活動による販路開拓や消費拡大、地域ならではの食文化の普及など、魅力ある「食」のまちづくりに取り組みます。
- 地域資源を活用した企業・事業誘致の推進をはじめ、新たな起業の支援に取り組みます。

おわせ応援団づくり

- 尾鷲に愛着を持つ出身者やゆかりのある人との様々なつながり（ネットワーク）により、おわせ応援団づくりに取り組みます。
- 「食」のまちづくりをはじめ、地域の特色を前面に出した「まるごと尾鷲」のイメージで、様々な手法によるシティプロモーション*などの情報発信を行うことにより、尾鷲のファンづくりに取り組みます。
- おわせ応援団や尾鷲ファンとの相互交流を通じて、地域づくり、次世代育成、産業振興などに対する協力、また、ふるさと納税などを含めて、外部からの支援も受けながら、おわせ人づくりを推進していくとともに、おわせ応援団等の情報発信力を生かし、活気あるまちづくりに取り組みます。

*シティプロモーション：観光客増加・定住人口獲得・企業誘致等を目的として、地域のイメージを高め、知名度を向上させる活動。

